

刊夕日五月一十

# 常磐毎日新聞

定価 一月五拾圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓  
 廣告料 五圓以上 二行 一圓 五行 一圓 十行 一圓 二十行 一圓 五十行 一圓 以上 一圓  
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式會社  
 發行所 常磐毎日新聞社  
 電話 六三〇番

## 桂月先生歌碑

### 建設の感謝

酒井 國三郎

麗かなる明治節の佳辰を  
 卜し、大町桂月先生の歌碑  
 を建設し、其式を擧ぐるに  
 當り地方有力なる各位多數  
 御參會を得ました事は恫に  
 光榮と存じます、特に歌碑  
 建設に就ては、賛助員の皆  
 々様を始め多大なる御寄附  
 と熱誠なる御後援等を賜は  
 りまして、御蔭には工事  
 は豫定の如く順に進み、  
 完成を告げに至りました、  
 茲に私は發起者一同に代り  
 厚く御禮を申し上げます。  
 さて、大町桂月先生には  
 今より十年前即ち大正十三

### ノート

昨年度内  
 地の人口  
 自然増加  
 は九十二萬七千二百九人  
 で青森縣の總人口より稍  
 々多く一時間平均百六人  
 に當る

年の晩秋に當地に來遊せら  
 れたる此の溪谷の景色を感  
 賞して詠せられたる歌一首  
 は之れであります。  
 散りはて、  
 枯木ばかりと  
 思ひしに  
 日入りて見ゆる  
 谷のもみぢかな

### 甲子初冬 夏井の溪に遊びて

桂 月  
 今回先生が此溪谷に足跡  
 を印せられたる記念として  
 我々同志が企て、此碑を  
 建てた次第であります。  
 先生は會て十和田湖に遊  
 び、彼の地の勝景を激賞し

【朝】コ、ア ドーナ  
 ツ リンゴ  
 【晝】刺身、まぐろ  
 わさび  
 【晚】海老フライ  
 モン 甘煮 ハ  
 ツ頭 味噌かけ

たる詩や歌を作り、之れを  
 世間に發表して以來、十和  
 田湖は天下に有名となり、  
 最近國立公園に指定さるゝ  
 様になつたのであります。  
 往昔より名所舊蹟は豪い  
 人達の歌や、詩、或は俳句  
 等によつて其名著明となつ  
 て居る事は、一々枚舉に遑  
 ありませんが、今其二、三  
 の例を擧げて見ますれば、

耶馬溪は山陽先生の詩によ  
 り、松島は芭蕉翁の句によ  
 り、又我縣下の信夫文字摺  
 は河原の左大臣の歌に由り  
 勿來の關は義家公の吹く風  
 をの歌に由つて有名となつ  
 て居ります。  
 當夏井溪谷も此桂月先生  
 の歌碑によつて、今後益々



### 短歌

會 ぶ 瀬  
 木津 茂太郎  
 ひさしくも相ひ會はむと  
 てうれしさに心ときめくか  
 なしからずや  
 七歳の會ふ瀬はこよひ悲  
 しくもわれもいましも生き  
 てゐにけり  
 寂しくも生きてあるゆえ  
 巡りあひあゝさびしくも生  
 きてあるゆえ

舞臺では牡丹燈籠あき  
 て我らはものをたうべてあ  
 りさ  
 さみとわれ牽牛らより哀  
 れなり七歳ぶりに會ひにけ  
 るかな  
 眼にのこる宵の芝居のざ  
 わめきかはた乙子のくろき

ひみか  
 うつくしく淨き御身にひ  
 しかへてかなしくも余は塵  
 にまみれぬ  
 忘れえね裏花道にたわむ  
 れし黒くやさしきひとみの  
 光り

## 貸切の御用命

ぜひ：三井自動車部へ!!!

電話六八五番

◎乗合は好問、合戸、澤渡方面行

### 有給外務員數名募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名  
 一、固定給の外旅費支給す  
 御希望の方は履歴書持參來談を乞ふ  
 (明治十四年創立  
 保險の開祖)

明治生命保險株式會社

平 事務所

所長 小野 勝康  
 平・仲町

## 是非!

御融通には御利用下さい  
 萬事便利な御相談に應じ  
 ます

## 三井質店

平四・電六〇六番

内 科  
 川井内科診所  
 川井安子  
 平町(電話二四三番)

## 祝 創刊滿十二周年

古河炭礦礦業所

磐城共濟病院長

石山 謙 郎

井坂 久 吉

大和田 郡 司

小田 炭 礦

萩原 申 八

上田 耕 作

多田井 笑 次 郎

株式 福島貯蓄銀行  
 會社

旭屋 衣 裳 店

山田 麻 袋 工 場

いづみや玩具店

丸ほん商店

清野 キ ヨ

# 豫想通りの互格戦 勝敗遂に決し難く

## 更らに再戦を期す

### 櫻ヶ丘臺上に観衆熱狂

本社主催 中等教員  
野球大會

本社主催第一回中等學校教員野球大會は三日午前十時半から菊花香る警女櫻ヶ丘グラウンドで舉行された、定刻参加三チーム三十餘名の選手入場にあいで燦然たる大優勝旗樹立、總務川崎本社長の挨拶、顧問代表正木警女校長の挨拶あつて唯野平稅務署長來賓を代表しての祝辭あり阿部政右衛門氏よりの祝電を朗讀かくて午前十一時十五分正木校長の鮮かな始球式あつてこの日の先陣を承り警女對平商戦が華やかに開始されたこの日氣遣はれた天候は明治節を壽ぐかの如く秋空和やかな絶好の日和に各選手勇躍全力をあげて健闘、明治節の式了つても去りやらの女學生は一團となつて母校の先生に聲援に躍起となれば續々詰めかけた清田上席檢事其他多數の來賓、觀衆は逆轉、再轉して興趣油然として盡くるなき白熱戦に熱狂して櫻ヶ丘グラウンドは興奮の坩堝と化してゆく……かくて別項の如く警女一勝一敗、警中一勝の後を受けて行はれた警中對平商戦は三回十對十同点のまゝ日没ノ一ゲームとなつたが豫想通り三校の力量は互格で正に何れとも優劣をつけ難い接戦に終始したのであつた

### 警女7—警中9

第二戰警女對警中は一時五十分から警女先攻

#### 警中の健棒に

#### 警女善戦空し

互ひに譲らぬ白熱戦  
満場騒然!

三進せんとするや捕手三壘に高投して二者生還又も逆に一点をリード、このシロ・ゲームに満場の觀衆たゞ陶酔その裏警中又も三點を挙げ三度二點をリード  
第七回、警女最後の猛襲に入り二死満塁の好機を造り至寶大内投手衆望を荷つてボックスに入り第一球を狙つた警女勝敗の一撃は惜

### 平商12—警女17A

第一戰警女對平商は午前十一時二十分から平商先攻で開始(審判水竹、井上、海野大谷)

#### 平商の突撃に

#### 警女猛然逆襲

#### 局面一轉の好勝負に

ファン心酔

平商第一回に一点を先取更に第二回大内投手の亂調に乗じ四球四を選び加へて菅原の二壘打、下山田、若松の安打等打者十一人を送つて一舉六點を獲得△第三回にも新田四球、下山田、武川、宮澤の連續三安打で三點を加へ一〇—〇と引放して斷然優勢を示す  
警女、矢野投手の速球に壓倒され勝ちであつたが三回淡路、大内の四球に續く鈴木の一壘打で二點を奪ひ△四回死後永島四球に出て直ちに二、三壘を速盗、田中の内野安打で生還△五回は矢野投手の疲勞に乗じ六人四球で出塁、一安打三敵失に七點を奪還、更に二死

警女	2000320
警中	401013A
平商	12-17

### 警中—警女

警女	0021104A
警中	1630200
平商	12-17

#### 暮色迫つて

惜しくも停戦  
十對十の伯仲振り

觀衆固唾をのむ折柄に陥り審判兩主將合議の結果ノーゲームとなる  
平商 415  
警中 172  
ノーゲーム 10-10

#### 戦ひの跡

警女對平商 第五回裏九點をリードされた警女軍の逆襲は目覚しかつた、矢野投手の思はぬ不調に遭つた警中各投手は一追はるゝ者の弱味」を遺憾なく暴露して焦り氣味となり要らぬ凡失を繰返しなつた

二壘打を痛打して走者を一掃、田中の二壘に止んだが警女この回打者十四登場して十點の大量得点を挙げ逆三點をリードし意氣揚る△その後平商反撥せんと努力したが結局直つた大内投手に牛耳られて十七對十二で警女捷つ、閉戦一時十八分  
警女 0021104A  
警中 1630200  
平商 12-17

#### 警女對警中

この一戦は當日のメーソン・エベツツであつた、試合は三度逆轉する白熱戦！警女五回表三點をあげて同點に迫つた、六回警女好打順を迎へ巧みな走りに二點をあげ向一死無走者の時四番打者新妻が右翼線近く痛烈なる二壘打を放ち一舉二壘を望んで憤死したが二壘に自重してればより得点を挙げ得たではなかつたか？六回裏警中二死後に警女の危機が訪れた、一點のリードと「二死」に氣を許した所に禍根が宿り二失策と四球に忽ち満塁となり下平の三壘惡投に二點を献じてしまつた正に「野球は二死から」である、七回表三度好機は廻り二死満塁となり花形大内投手が打者となり第一球を強振して三邪飛に止んだがこの時二、三球待球してピッチャー・インゼ・ホルの悪條件に厭でも投げ込んで来る好球を痛打して見ては如何か？かなり面白く變化したかも知れないと思ふ(Y)

# 裁判所前から失火 學校大騒ぎ

## けふの非常演習

### 平商は第一第二校の想定

今朝八時三十分平裁判所前空家より發火折柄の西北風に煽られ、平商、第一、第二兩小學校は全滅せんとしたがこれを逸早く知つた各學校はそれ／＼生徒を安全地帯に避難させる一方第一小學校の少年消防隊と共に各職員協力消火に盡力した結果間もなく鎮火した、これは今日の防火宣傳デーに際し平商及第一、第二兩小學校の非常演習想定で各係員が部署につく迄の時間が僅か二分三十秒、全生徒

## 消防組や

### 學校の宣傳

けふの防火宣傳デーに際しては平消防組及び各區火防組合が警鐘合圖に夫々演習宣傳等に努め警中、警女の兩縣立校に於ても呼應して講演に演習に趣旨の徹底を圖つた

## 婦人會女青共に

## 昨日役員を改選

既報平婦人會總會は去る三日午前九時より、同女子青

## 社告

第一回中等教員野球大會は別項の如く日没のため警中對平商がノー・ゲームとなり不日改めて續行することになつたが、期日に就ては目下參加チーム折衝中で決定次第發表の豫定である。  
御諒承を乞ふ。

年團は正午より各第二小學校講堂に夫々總會を開催、

た紹介成績を見ると求人部では男が四十一名、女二十三名、計六十四名、求職の部は男四十三名、女十一名計五十四名で其のうち就職したのが男廿三名、女八名の合計三十一名で前月に比較すると求人十八名、求職者廿三名の減、昨年同期よりも求人八名、求職五名何れも減である

## 縣の補助が付くと

## 出鱈目農具を賣る

最近郡下各農村が農繁期に入つたのをキッカケに郡南泉、錦兩村方面に不良農具販賣の行商人が盛んに出入りし萬石稻薊機一臺に就いて二圓位の縣補助金が下ると出鱈目を並べ使用に堪いない稻薊機を賣込み既に七八件の被害あるので其筋では近くこれら不正商人の入込むのを嚴重に取締る事になつた

## 忙し最中

### 持病で轉倒

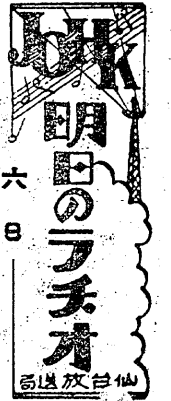
其儘お陀佛  
平窪村大字中平窪字十門田一六農金成善次郎(七)は昨日午後四時半頃自宅附近の田圃で稻掛作業中持病のテンカンを起して轉倒其儘窒息死亡したのを通行中の同村金成トク子(七)が発見平署に届出た

## 觀楓客が超満員

### 臨時列車に三倍以上も

### 十一日前後が見頃

後藤平驛長が宣傳に力コブを入れた川前溪谷紅葉探勝客は昨日四日第一回觀楓臨時列車も定員五百名に對し八百餘の申込みがある超満員振り、更に平町片倉製糸従業員五百餘名の團體を加へ川前溪谷一帯は例年にならぬ賑ひを見たが来る十一日の



明日のラヂオ

### 今晚の部

後六、〇〇 子供の時間  
殉死と墮天坊幸彦  
後六、二五 基礎英語講座  
(二二)岡倉由三郎  
後七、三〇 講演「博物館の本分」法學博士 杉榮

### 明日の部

前七、〇一 基礎獨語講座  
(二二)岡本修助  
前七、三〇 神典講義「口事記」(四)植木直一郎  
後一、〇三 家庭科學講座「衣服整理」(一)上田柳子  
後二、〇五 ビデオ三重奏  
DSK トリオ  
後八、〇〇 婦人講座「來朝して見た廿五年前と今の日本」タイベルボードマン

### 明日の部

後六、〇〇 連續講談「青砥政談」(二)龍齋貞山  
後八、三〇 地味美馬政  
後九、〇〇 プアノと管絃  
樂田中芳子 東北帝大交響樂團

## 藤原炭礦鐵入式

### 昨日嚴かに執行さる

既報一磐炭と三井の合辦で久し振りに廢礦から浮び上る磐崎村宇藤原地内舊藤原炭礦復活の鐵入式は昨日午前十時より同村長倉地内第一斜坑に於いて湯本町温泉神社の佐波古神官祭主の嚴肅に行はれた

## 三丁目優勝

### 平町軟式野球

第三回平町軟式野球大會は昨日午前八時から警中、平商、平第三の三球場で舉行、參加十六チーム鏖戦を削る接戦を演じたが結局昨年同様平遞友對三丁目の決勝戦となり二A對一で三丁目優勝した、閉戦四時四十五分、尙同決勝戦平遞友最後の攻撃の際三塁走者早坂ホーム・スチールを企てたが球審石坂氏アウトと宣告し

## 長滞在の

### お客逃走

平町二丁目大村屋旅館に去月十四日より去る三日迄泊中の茨城縣太田町字西町三古物商白井徳次郎(七)は三日夜映書見物に行くと稱し宿代遊興費等四十二圓五十錢を踏倒して逃走したが去る四日朝平驛附近で平署員に捕はれた

## 平町人事

回出生  
△六間門一九 五十嵐藤吉  
氏三男藤三郎  
回 死 亡  
△紺屋町一七 藁谷エイ  
(八三)  
△播穂小路五 村上利男  
(二二)  
△白銀町四十 草野テツ  
(七八)

## 井上中將

### 覺悟を促す

昨日の教育總會に既報石城教育會總會集會は昨日午前九時より平第一小學校講堂に開催、定刻會長

## 飛行場の

### 電線を盗む

石城郡豊岡村大字豊岡字柳町三六當時住所不定窃盜前科一犯四家真太郎(三)は先月中より仙臺市霞ノ目飛行場附近の電線六百十米を切断し古物商に賣却して遊興して居た事發覺、昨日四日仙

